

2024 年 11 月 26 日作成 Ver.1.4

《情報公開文書》

長崎大学病院の入院患者における尿道カテーテル適正使用に関する実態

研究の概要

【背景】

尿路障害や重篤で正確な尿量測定を必要とする患者さんにとって、尿道カテーテルは重要な医療器具となっていますが、尿道カテーテル留置期間の延長は、カテーテル関連尿路感染症のリスク要因となっており、長期化を防ぐ事が重要とされています。

しかし、長崎大学病院において尿道カテーテルの使用の実態は明らかになっていません。

【目的】

長崎大学病院で尿道カテーテルを留置していた患者さんに対して、尿道カテーテルの適正使用に関する実態を明らかにしたいと考えています。

【意義】

尿道カテーテルの適正な使用の推進につなげることにより、カテーテル関連尿路感染症の減少に向けて貢献できると考えています。

【方法】

長崎大学病院で尿道カテーテルを使用していた患者さんを研究対象として、電子カルテより情報収集を行います。電子カルテの情報は、通常の診療経過による情報であり、この研究のために追加して行う検査などはありません。

対象となる患者さん

長崎大学病院の入院病棟（集中治療部、SCU、NICU/GCU、小児科、小児外科を除く）に入院し、尿道カテーテルを8日以上留置されていた方。

対象期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 性別、年齢、診療科、日常生活自立度、挿入日、転帰、抜去日
- 発熱（38℃以上）、恥骨上圧痛、肋骨背柱角痛/圧痛の有無、カテーテル尿の培養検査の採取日、検出微生物の種類、菌量（ 10^5 以上かつ2種類以下の微生物が検出されているかの有無、カンジダ属、糸状菌、二相性真菌、寄生虫は除外する。）
- 周術期に伴う尿道カテーテル使用の有無、尿閉・膀胱出口部の閉塞の有無、身体拘束の有無、仙骨/会陰部の開放創の有無、緩和ケアチーム介入の有無、患者重症の有無
- 尿道カテーテル挿入の指示、尿道カテーテル継続の指示、尿道カテーテルを使用した正確な

尿量測定の手引、尿道カテーテル抜去の手引、安静臥床の手引

- ・ 看護師が尿道カテーテルの使用を不要と判断した記録の有無、尿道カテーテルの使用を不要と判断した記録の内容

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 感染制御教育センター 氏名：渡辺 瑞紀 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7731
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 感染制御教育センター 担当者名 渡辺瑞紀（研究責任者）

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7731 FAX 095（819）7766

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）